

2025. 1. 31

【1次QE予測（24年10-12月期）】

前期比年率+1.1%とプラスを予想

～2025年の日本経済は緩やかな回復にとどまる～



経済調査部 エコノミスト

前田 和孝

ポイント

- 2024年10-12月期実質GDP成長率は前期比+0.3%（年率換算：+1.1%）とプラスになったと予想
- 設備投資は高めの伸びとなったものの、個人消費はマイナスが見込まれ、内需の寄与は▲0.2%ポイントを予想。一方、輸入のマイナスなどに伴い、外需は+0.4%ポイントのプラス寄与になったとみる
- 先行きについて、個人消費は緩やかな回復にとどまるとみる。設備投資は底堅く推移するものの、外需は低迷が見込まれ、日本の景気は緩やかな回復が続くと予想

1. 10-12月期実質GDP成長率はプラスを予想

内閣府から2月17日に発表予定の2024年10-12月期実質GDP成長率は前期比+0.3%（年率換算：+1.1%）と、3四半期連続のプラスになったと予想する。

需要項目別に見ると、まず、民間最終消費支出（個人消費）は7-9月期：前期比+0.7%→10-12月期：同▲0.2%と、3四半期ぶりのマイナスに転じたと予想する。自動車販売の回復が一服したことに加え、電気・ガス料金の負担軽減策の終了や、食品価格の上昇に伴う節約志向の高まりが重石になったとみる。

住宅投資は、住宅価格の高止まりと住宅ローン金利の上昇などにより、着工件数に足踏みがみられることから、7-9月期：前期比+0.4%→10-12月期：同▲1.4%と3四半期ぶりのマイナスを予想する。設備投資は、人手不足対応のデジタル関連投資が引き続き堅調だったほか、機械投資に持ち直しの動きがみられることから、7-9月期：前期比▲0.1%→10-12月期：同+0.9%と、2四半期ぶりのプラスを見込む。政府最終消費支出は、医療費の増加などから、7-9月期：前期比+0.1%→10-12月期：同+0.1%と4四半期連続のプラスを予想する。公的固定資本形成は、国土強靱化関連の防災・減災工事や災害復旧工事が一巡したことから、7-9月期：前期比▲1.1%→10-12月期：同▲0.5%と、2四半期連続のマイナスになったとみる。

輸出は、7-9月期：前期比+1.1%→10-12月期：同+0.7%と、3四半期連続のプラスを予想する。中国向けの停滞に加え、米国向けの勢いが鈍化したことから財輸出は振るわなかったが、インバウンド需要が下支え要因になったとみられる。輸入は、7-9月期：前期比+1.8%→10-12月期：同▲1.4%となり、純輸出の寄与度は+0.4%ポイントのプラスになったと予想する。

2. 2025年の日本経済は緩やかな回復に

先行きについて、まず個人消費は、春闘における高い水準の賃上げ率が期待できそうだが、食品を中心とする物価高が下押し要因となり、緩やかな回復にとどまると予想する。設備投資は、日銀短観など各種調査で見られるとおり計画は強く、良好な企業業績を追い風に底堅い推移が続くと見込む。一方、住宅投資は、住宅価格の高止まりと住宅ローン金利の上昇が引き続き足枷になるとみる。外需にも景気の牽引役は期待しづらい。インバウンド需要は下支え要因となるものの、中国景気が力強さを欠くことなどから財輸出は停滞気味の推移が見込まれ、日本の景気は緩慢な回復が続くと予想する。

実質GDP成長率予測

(前期比：%)	23/12	24/3	24/6	24/9	→予測	
					24/12	寄与度
実質GDP	0.2	-0.6	0.5	0.3	0.3	-
前期比年率	0.7	-2.2	2.2	1.2	1.1	-
民間最終消費支出	-0.1	-0.6	0.6	0.7	-0.2	-0.1
民間住宅投資	-0.9	-2.7	1.2	0.4	-1.4	-0.0
民間設備投資	2.0	-0.4	1.1	-0.1	0.9	0.1
政府最終消費支出	-0.0	0.2	1.0	0.1	0.1	0.0
公的固定資本形成	-1.7	-2.1	5.2	-1.1	-0.5	-0.0
民間在庫品増加(寄与度)	-0.1	0.4	-0.1	0.2	-	-0.2
純輸出(寄与度)	0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-	0.4
財貨・サービスの輸出	3.0	-4.1	1.5	1.1	0.7	0.1
財貨・サービスの輸入	2.1	-2.4	3.3	1.8	-1.4	0.3
内需(寄与度)	0.0	-0.2	1.0	0.5	-	-0.2
名目GDP	0.6	-0.1	1.9	0.5	0.9	-
前期比年率	2.6	-0.6	7.8	1.8	3.8	-
GDPデフレーター(前年同期比)	4.3	3.1	3.2	2.4	2.6	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝

電話番号：03-6261-7947

e-mail：ka3-maeda@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411